

広島商船高等専門学校アセスメントプラン（学修成果の点検・評価の方策）

広島商船高等専門学校では、本校の教育カリキュラムが3つのポリシー（アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー）に基づき適切に運用しているか、3つのレベル（全学レベル・学科レベル・科目レベル）における学生の学修成果等を評価することにより検証し、全学的な教育改善につなげるため、アセスメントプランを定めています。

点検・評価は自己点検評価委員会で行われ、その結果は企画総合調整会議においてマネジメントレビューされ、改善すべき事項が決定されます。企画総合調整会議から各部署に改善依頼が出され、本校の教育の継続的改善を行います。3つのポリシーについても社会情勢の変化に鑑み、継続的な見直しを行います。

また、このアセスメントプランを公表することにより、学生・保護者・入学希望者・社会に対して教育の可視化を行い、教育の質保証に努めます。

実施日	令和6年4月9日
点検及び評価	自己点検評価委員会 副校長（評価担当）・各学科長・一般教科長・広島丸船長・総務課長・学生課長 メディアセンター長・国際交流室長・学生相談室長

実施日	令和6年4月19日
マネジメントレビュー （改善指示）	総合企画調整会議 校長・教務主事・学生主事・寮務主事・副校長（総務担当）・専攻科長・事務部長

ディプロマポリシー					
教育成果の検証					
観点	評価の根拠となる資料	担当部署	担当部署のコメント	評価	マネジメントレビュー
本科卒業生の最終学年成績平均評価点から教育効果が認められるか ※入試成績から含める	成績資料（本科卒業生） ①-1・2 入試総合成績と最終学年成績評価点の関係（推薦・学力）	教務委員会 （教務主事）	推薦・学力ともに最終学年の成績評価点が標準である 70 点を概ね超えていたことから、十分な教育効果があったと認められる。	■改善なし □改善検討 □改善指示	最終学年の成績が十分達成されているので、入試から卒業までの期間で十分な学力を身につけることができていると認められる。
専攻科修了生の最終学年成績平均評価点から教育効果が認められるか	成績資料（専攻科修了生） 指導教員及び複数教員による特別研究の評価②	専攻科委員会 （専攻科長）	最終学年の成績評価に於いて、履修科目に対する「優」の割合が産業システム工学専攻で 77%、海事システム工学専攻で 83%と高い値を示していることから、十分な教育効果があったと認められる。	■改善なし □改善検討 □改善指示	最終学年の成績が十分達成されているので、入試から修了までの期間で十分な学力を身につけることができていると認められる。
本科卒業生及び専攻科修了生の進路状況、就職及び進学先の外部評価から教育効果が認められるか	③-1R05 学科・専攻別就職先分析シート ⑤-2_アンケート分析（R03 就職先進学先）	教務委員会 （教務主事） 専攻科委員会 （専攻科長）	各学科・専攻の教育成果を発揮できる企業先に就職あるいは進学していることが確認された。また、就職及び進学先の評価も十分であると考えられる。	■改善なし □改善検討 □改善指示	各学科の卒業生及び各専攻の修了生の進路が学習目標を達成し、十分な教育効果を得ることができているので、今後も継続すること。
学修成果の検証					
分野横断的能力簡易テスト結果・資格取得状況及び国家試験合格状況から、学修成果が認められるか	④-1・2R05_分野横断的能力（学科比較・学年比較） ④-4 国家試験合格状況（商船学科）	教務委員会 （教務主事）	簡易テストの結果、特に M 科の学生は就職関係について自信がもてない学生が多い傾向にある。低学年からキャリア支援を検討する必要がある。	□改善なし ■改善検討 □改善指示	特に M 科が就職活動に自信が持てないとのデータがあるので、学科に周知し、就職担当と連携して対応すること。
満足度					
本校の教育に対する満足度について、卒業時のアンケート、卒業後アンケート、保護者からの意見、第 3 者からの意見を総合して十分か	⑤-1～5_アンケート分析結果（卒業生修了生、既卒、保護者、進路先企業、進学先大学）	FD 委員会 （評価担当）	卒業生修了生の成果教育及び教育支援に対する満足度、達成感や成長実感については 3 以上の評価があったが、既卒や進路先、保護者からのコメントは情報共有する必要がある。	□改善なし ■改善検討 □改善指示	卒業時・修了時に身に付けられている知識・能力についてはアンケート結果から十分な満足度を得られたと判断できる。ただし、記述の回答については各学科各専攻で共有し、検討すべき点は検討すること。
総合					
以上の評価を総合して、学生は DP にあげた力を身に着けていると判断できるか	-	-	-	■改善なし □改善検討 □改善指示	成績評価など総合的に評価した結果、進級基準及び卒業認定基準を満たしており、DP にあげた力を身につけていると判断できる。

総合的な判断や社会情勢の変化から、DPの見直しが必要か	-	-	-	<input type="checkbox"/> 改善なし <input checked="" type="checkbox"/> 改善検討 <input type="checkbox"/> 改善指示	DPの内容については見直しの必要はないが、中学生にもわかりやすい表現に修正すること。
-----------------------------	---	---	---	--	--

カリキュラムポリシー					
観点	評価の根拠となる資料	担当部署	担当部署のコメント	評価	マネジメントレビュー
本科の教育課程編成の方針について、全学科がカリキュラムポリシー（CP）に沿った適切な授業科目を体系的に配置しているか	⑥-1R06_カリキュラムマップ（本科） ③-1R05_学科・専攻別就職先分析シート	教務委員会 （教務主事）	カリキュラムマップに示す通り、CPに基づき授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されている。各学科とも卒業生を送り出した就職先で必要となる能力を身につけるカリキュラムを配置できていると考えられる。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善なし <input type="checkbox"/> 改善検討 <input type="checkbox"/> 改善指示	現行カリキュラムについては各学科のCPに沿った授業科目を配置しており、卒業生が各学科の特色を生かした就職先についていると認められる。
専攻科の教育課程編成の方針について、全専攻がカリキュラムポリシー（CP）に沿った適切な授業科目を体系的に配置しているか	⑦-1R06_カリキュラムマップ（専攻科） ③-1R05_学科・専攻別就職先分析シート	専攻科委員会 （専攻科長）	カリキュラムマップに示す通り、CPに基づき授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されている。各専攻とも修了生を送り出した就職先で必要となる能力を身につけているカリキュラムを配置できていると考えられる。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善なし <input type="checkbox"/> 改善検討 <input type="checkbox"/> 改善指示	現行カリキュラムについては各専攻のCPに沿った授業科目を配置しており、修了生が各学科の特色を生かした就職先についていると認められる。
教育・学修方法に関する方針に沿った授業が展開されているか （留学・インターンシップ等のプログラム）	⑧-1R05_インターンシップ参加一覧 ⑧-2R05_インターンシップ実施報告書（抜粋）	教務委員会 （教務主事）	参加状況が少ないのは確認が報告書のみのためと思われるので、実際にはもっと多いと思われる。状況把握のために報告書の提出を求めることと、学生の意識を高める必要がある。	<input type="checkbox"/> 改善なし <input checked="" type="checkbox"/> 改善検討 <input type="checkbox"/> 改善指示	インターンシップを体験した事実を下級生にも情報共有することで、よりよい就職情報の共有ができる。そのための方策を検討すること。
その他教育・学修方法に関する方針について、外国語の基礎能力、他機関との単位互換、資格取得に関する教育その他同方針に沿った取り組みがなされているか	⑨-1R05_TOEIC成績 ⑨-2・3R05_他機関との単位互換状況 ⑨-4R05_資格取得による単位認定	教務委員会 （教務主事）	少人数ではあるが、他高専との単位互換や資格取得による単位認定を実施できていると考えられる。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善なし <input type="checkbox"/> 改善検討 <input type="checkbox"/> 改善指示	TOEICの受験や他高専の授業の受講については学生に対する周知、資格取得についてはその意義やメリットなどのアピールは継続して実施すること。
教育レベルは適正か	在学生の成績 ⑩-1R05_授業評価アンケート集計結果 ⑩-2R05_原級留置状況	FD委員会 （評価担当）	各学科各専攻とも成績平均点がほぼ60点以上であり、授業評価アンケートの平均点も4点以上であったが、原級留置者が10名と若干多い。	<input type="checkbox"/> 改善なし <input checked="" type="checkbox"/> 改善検討 <input type="checkbox"/> 改善指示	各学科各専攻ともに適正な教育レベルであることが確認されたが、原級留置者も多いので平均点と授業評価アンケートが低評価の科目を中心に原因を調査すること。

FD 活動により教育内容・方法の改善に努めているか	⑩-1R05_FD 研修実施状況 ⑩-2R05_授業評価ヒアリング 記録	FD 委員会 (評価担当)	R5 年度は FD 研修会 1 回、授業参観 5 回 (新任教員だけでなく非常勤講師にも実施)、授業評価ヒアリング 4 回実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善なし <input type="checkbox"/> 改善検討 <input type="checkbox"/> 改善指示	新任教員や非常勤講師を含め、授業参観及びヒアリングはしっかりと実施できている。教員に求められている資質も変化しているので、それに対する FD の実施も検討すること。
満足度					
本校の教育に対する満足度について、アンケートの結果から十分であると判断できるか	⑤-1～5_アンケート分析結果 (卒業生修了生、既卒、保護者、進路先企業、進学先大学)	FD 委員会 (評価担当)	卒業生修了生の成果教育及び教育支援に対する満足度、達成感や成長実感については 3 以上の評価があったが、既卒や進路先、保護者からのコメントは情報共有する必要がある。	<input type="checkbox"/> 改善なし <input checked="" type="checkbox"/> 改善検討 <input type="checkbox"/> 改善指示	本校のカリキュラムに対する満足度はアンケート調査からも十分であることがわかったが、学科によってはまだ上がる余地もあるので、検討する必要がある。
総合					
以上の評価を総合して、CP に沿った教育が行われていることが認められるか	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/> 改善なし <input type="checkbox"/> 改善検討 <input type="checkbox"/> 改善指示	CP に沿ったカリキュラムを展開していることが資料から確認できたので、CP に沿った教育が実施されていることが確認できた。
現在の評価状況から CP の見直しが必要か	-	-	-	<input type="checkbox"/> 改善なし <input checked="" type="checkbox"/> 改善検討 <input type="checkbox"/> 改善指示	社会情勢やニーズには対応できているので、内容を変更する必要はないが、わかりやすい表現に修正すること。

アドミッションポリシー					
観点	評価の根拠となる資料	担当部署	担当部署のコメント	評価	マネジメントレビュー
本科の入学選抜の基本方針に沿った入学選抜方法（学生募集の方針、選抜区分（学力選抜、推薦選抜等）、面接内容、配点・出題方針等）となっているか	学生募集要項（推薦・学力・帰国生徒・編入学） 入学選抜審査要項（推薦・学力・帰国生徒・編入学）	入試委員会 （教務主事）	編入学の合格判定方針が明確でないことと、推薦選抜の合格判定方針について、活動成果の評価割合が低いが計算が煩雑であるので整理が必要であると思われる。	<input type="checkbox"/> 改善なし <input checked="" type="checkbox"/> 改善検討 <input type="checkbox"/> 改善指示	編入学の合格判定基準については入試委員会で検討した後に入学選抜要項に明記すること。活動成果の評価割合については、入試委員会でしっかりと検討すること。
専攻科の入学選抜の基本方針に沿った入学選抜方法（学生募集の方針、選抜区分（学力選抜、推薦選抜等）、面接内容、配点・出題方針等）となっているか	専攻科学生募集要項（推薦・学力・社会人・二次募集） 専攻科入学選抜審査要項（推薦・学力・社会人・二次募集）	専攻科委員会 （専攻科長）	専攻科の入学選抜の合格判定方針の記述が明確ではないので、具体的にどのように判定するか記述する必要がある。また定員に対する推薦募集人数の割合について記載がないので、見直す必要がある。	<input type="checkbox"/> 改善なし <input type="checkbox"/> 改善検討 <input checked="" type="checkbox"/> 改善指示	入学選抜の合格判定方針については専攻科委員会で検討した後に、来年度入学募集から反映させること。定員に対する推薦募集人数の割合についても専攻科委員会で検討すること。
実際に入学した本科学生が、AP に沿っているか	⑫-1・2R05_入試総合点と1年前期中間試験評価点の関係（推薦・学力） ④-3R04_分野横断的能力（R05 入学生）	教務委員会 （教務主事）	学力の評価については成績資料より、その他の評価については分野横断的能力簡易テスト集計結果より平均が7点程度であったので、入学した本科学生はAPに沿っていると判断できた。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善なし <input type="checkbox"/> 改善検討 <input type="checkbox"/> 改善指示	学力の3要素について、成績及び簡易テストの結果からAPに記載されている能力を持った学生が入学したと判断できたので、引き続き実施すること。
実際に入学した専攻科学生が、AP に沿っているか	入試成績と定期試験成績の相関 調査書・推薦書 入学試験選抜判定資料	専攻科委員会 （専攻科長）	学力については入試の成績と定期試験成績よりAPに沿っていることが評価される。その他の要素についての検証が不十分であったので、検証方法を見直す必要がある。	<input type="checkbox"/> 改善なし <input checked="" type="checkbox"/> 改善検討 <input type="checkbox"/> 改善指示	選抜試験の出願時におけるAPに意識するような表現を検討すること。また、人数が少ないので在学中において学生がAPを確認する方法も検討する必要がある。
総合					
現在の評価結果から学校全体のAPの見直しは必要か	-	-	-	<input type="checkbox"/> 改善なし <input checked="" type="checkbox"/> 改善検討 <input type="checkbox"/> 改善指示	学校のWEBページで本科及び専攻科のアドミッションポリシーが探しにくく、また表現もわかりにくいので、その点を含めて修正しておくこと。